

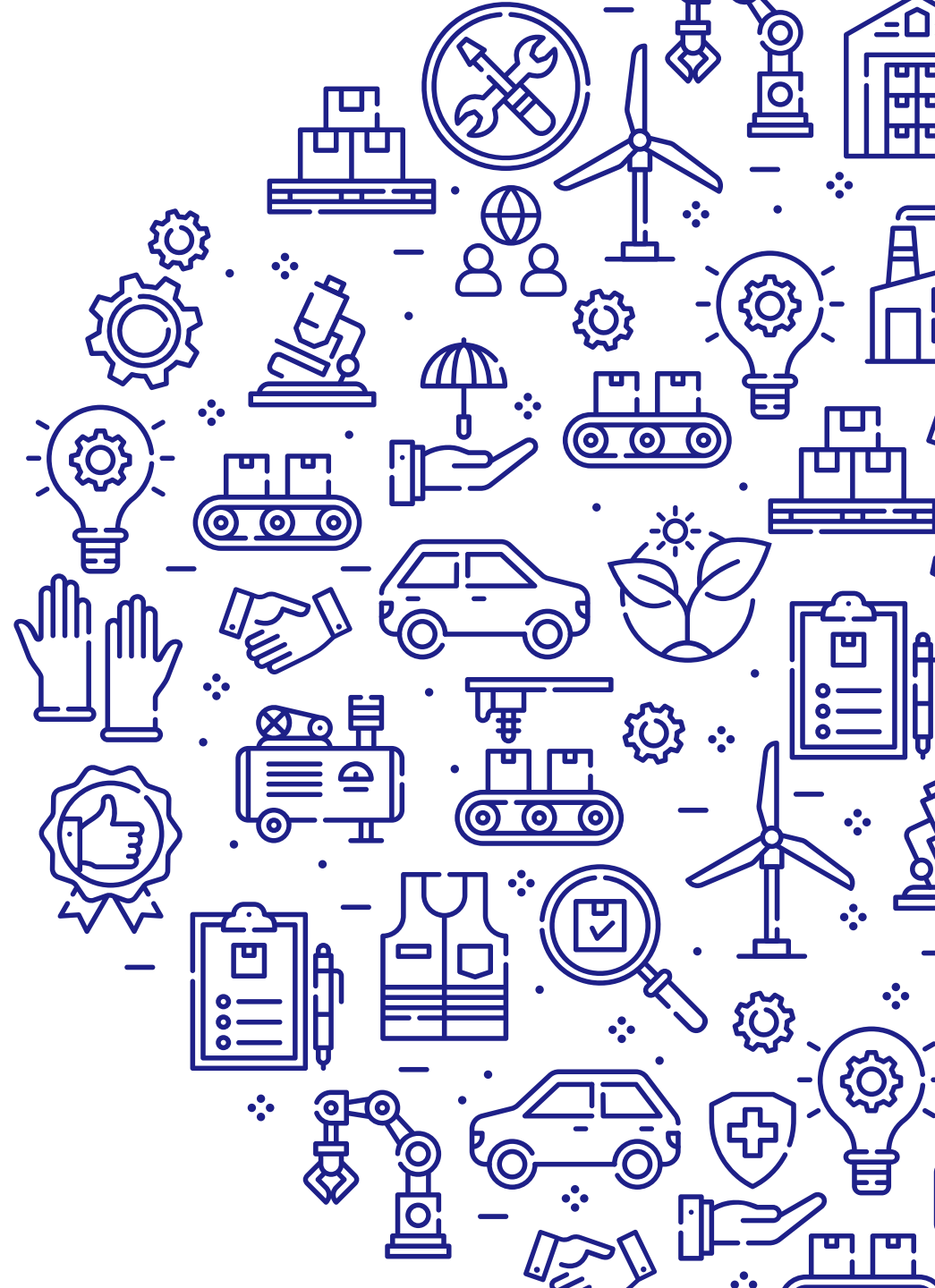
2025年3月期 中間決算説明会

NOK株式会社

2024年11月7日



2025年3月期 中間決算概況





増収・増益。第1四半期時点での予想比でも売上高・営業利益ともに上振れ

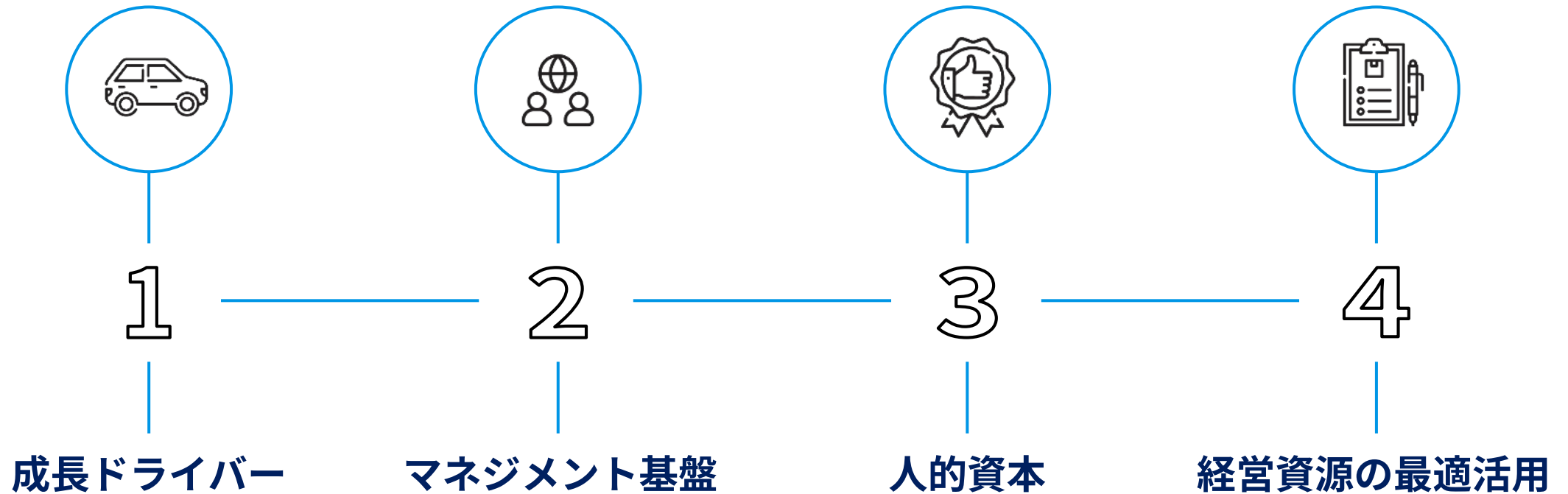
- 売上高は為替の影響もあり増加。シール、電子部品ともに営業利益増
- 電子部品はスマートフォン需要ピークが上期となったこともあり大幅増収・増益
- 前年同期に為替差益（営業外収益）、政策保有株式の売却（特別利益）があったため、経常利益・当期純利益段階は小幅な増益

	24/3 上期	25/3期 上期	増減額
売上高	3,542 億円	3,937 億円	+394 億円
営業利益	49 億円	191 億円	+142 億円
当期純利益	122 億円	136 億円	+14 億円

中期経営計画の4つの変革



中長期的な成長に向けた変革基盤の構築のための施策を着実に実行

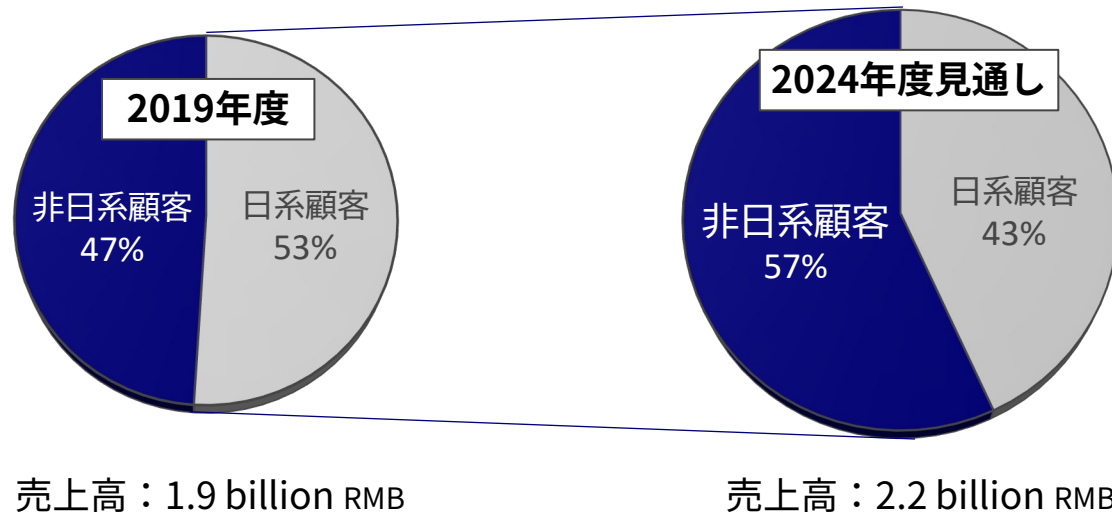


シール事業：非日系顧客への拡販によるポートフォリオの最適化



中国：非日系顧客に対する売上割合が上昇

【中国における自動車向け売上金額と顧客構成】



- 自動車向け売上全体が増加（5年CAGR約4%）する中で非日系顧客向けの売上割合が上昇
- 今後も中国市場における中国メーカーの高いシェアが予想される
- 収益性を意識した拡販を継続するとともに、現地での開発・生産を通じた顧客ニーズ対応

ASEANでも非日系顧客の案件数が増加傾向

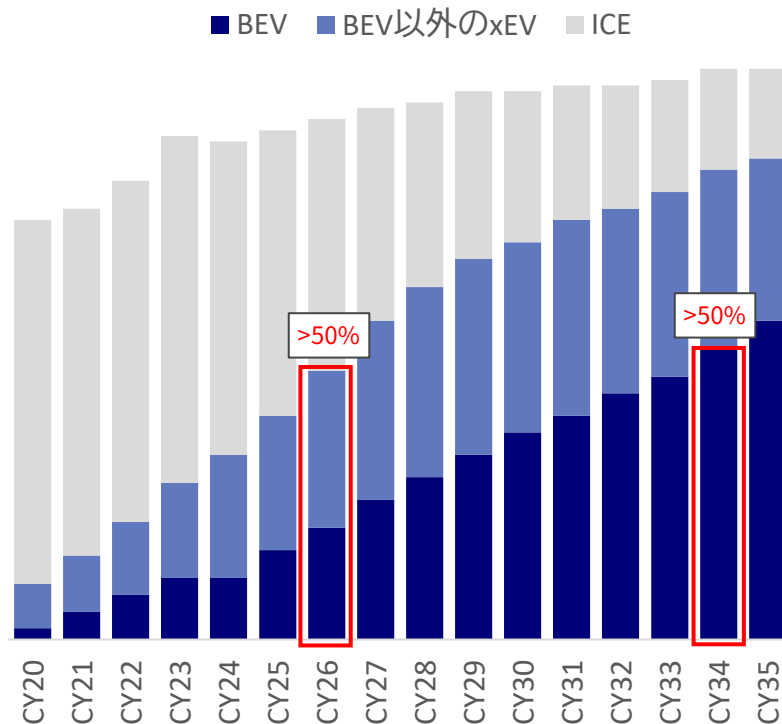
- 国・地域を横断するプロジェクトによりASEAN全体を俯瞰した拡販を行う
- 日系顧客向けビジネスへの注力に加え、今後進出が想定される中国メーカーに、中国拠点と連携しながらスピード感のある顧客対応ができる体制を構築していく

電子部品事業：車載バッテリー用途は今後も成長ドライバーとして期待



2026年にはxEV計で、2030年台半ばにはBEV
単独でグローバル自動車生産の50%に達する
予想

【グローバル自動車生産台数見通し】



Source: IHS Aug-2024

グローバルに製造拠点を有する強みを生かし、
地域に応じた戦略で成長を目指す

現在の主要市場

- 欧州：これまでの供給実績と信頼に基づくOEM主導の採用推進
- 中国：多くのプレイヤーがいる中で収益性を重視した拡販

今後の拡大を期待する地域

- 日本：HEV向け量産開始。日系メーカー向けの案件が増加中
- 北米：現地化ニーズ対応に向けメキシコに試作ライン立ち上げ
- ASEAN：中国xEVメーカーの市場参入。他地域への輸出も含めたタイ製造拠点の活用

需要変動に柔軟に対応できる生産体制の実現が課題



減収・増益予想。前回予想比較で売上高は横ばい、営業利益は増額修正

- シール事業：厳しい事業環境下ではあるが、価格改定活動の推進をはじめとする収益性向上に取り組む
- 電子部品事業：閑散期に備えた適切な損益管理とともに継続的な黒字体質の確立に向けた施策を推進

	24/3期 実績	25/3期 修正予想	増減額	25/3期 前回予想	変動額
売上高	7,505 億円	7,455 億円	△50 億円	7,447 億円	+8 億円
営業利益	229 億円	319 億円	+90 億円	280 億円	+39 億円

24/8/2公表

中長期にわたる持続的な企業価値向上のための収益性向上施策、必要な投資を実行していく

**2025年3月期
中間期実績・通期予想**



2025年3月期 中間期連結業績



(億円)

	24/3期 上期実績	25/3期 上期実績	前年同期比	25/3期 上期予想
売上高	3,542	3,937	+11.1%	3,876
営業利益	49	191	+292.4%	142
営業利益率	1.4%	4.8%	+3.5pt	3.7%
経常利益	164	211	+28.8%	203
当期純利益*	122	136	+11.7%	125

*親会社株主に帰属する当期純利益

24/8/2公表

設備投資額	228	247
減価償却費	235	233
平均為替レート (円/ドル)	139.49	153.64

25/3期上期 対前同比較での為替影響
売上高：+206億円、営業利益：+9億円

2025年3月期 中間期実績：セグメント別売上高・営業利益



		24/3期 上期実績	25/3期 上期実績	前年同期比	(億円) 25/3期 上期予想
シール事業	売上高	1,795	1,791	△0.2%	1,780
	営業利益	83	112	+34.9%	77
	営業利益率	4.6%	6.2%	+1.6pt	4.3%
電子部品事業	売上高	1,612	1,975	+22.5%	1,928
	営業利益	△36	65	-	54
	営業利益率	△2.2%	3.3%	+5.5pt	2.8%
その他事業	売上高	136	170	+25.5%	168
	営業利益	1	13	-	11
	営業利益率	0.9%	7.7%	+6.9pt	6.4%

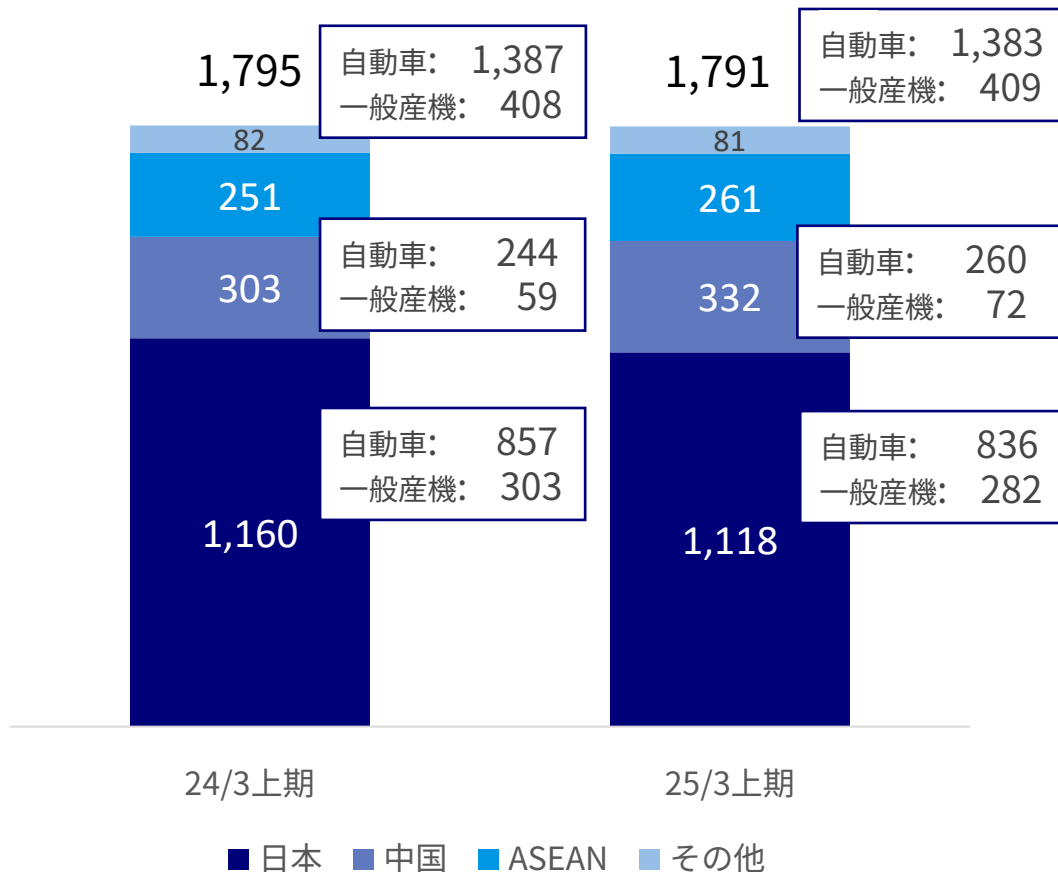
24/8/2公表

シール事業：2025年3月期 中間期実績（売上高）



所在地別売上高（億円） *販売元の所在地ベース

産業別売上高（億円）

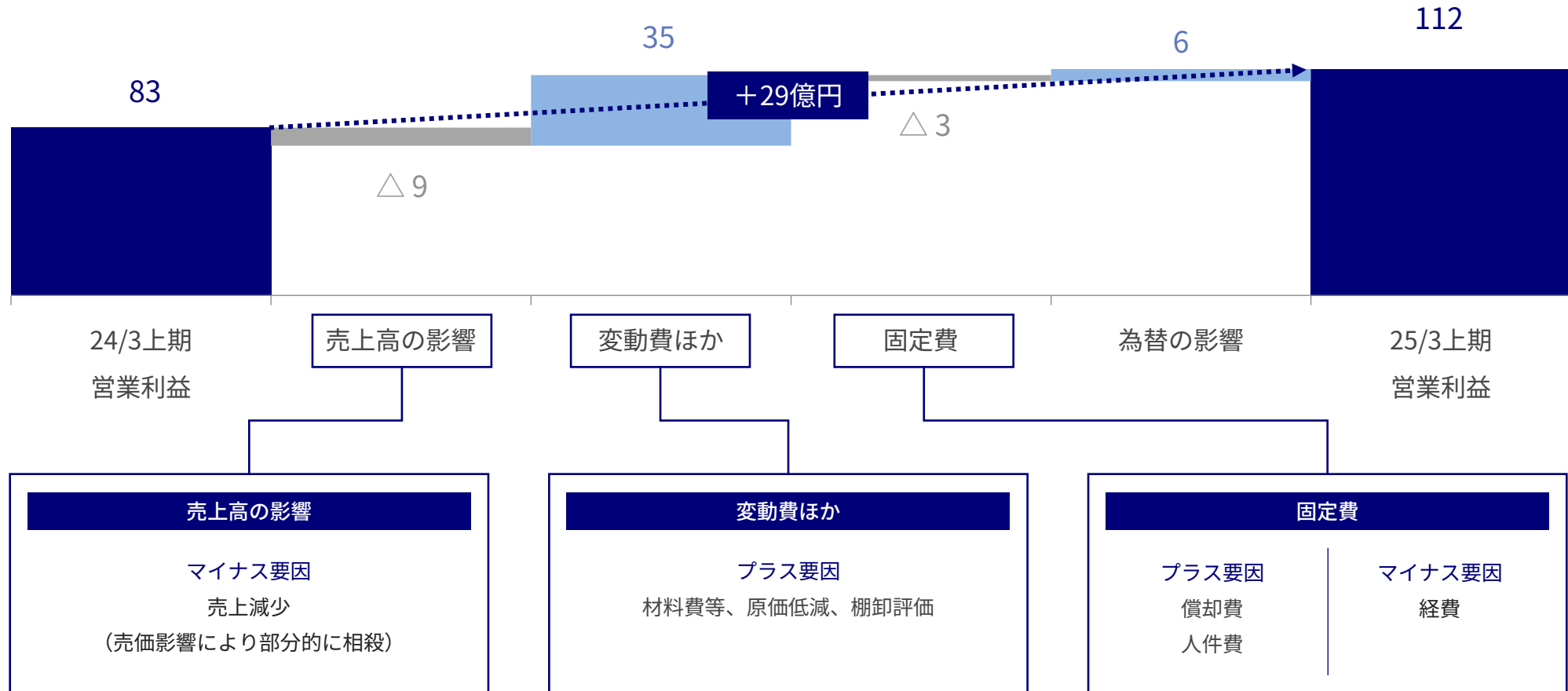


- 前期比△4億円（△0.2%）と微減
為替の影響（+46億円）を除くと実質50億円の減収
- 収益性改善に向けた価格改定活動などを推進し、台数減少による影響を一部カバー
- 日本：自動車向けが生産台数減少の影響を受けマイナス
- 中国：日系自動車の厳しい状況を非日系向けへの取り組みで一部カバーするも、為替の影響を除くと微増
- ASEAN：主要市場での自動車ローン審査厳格化の影響による需要減傾向は変わらず

シール事業：2025年3月期 中間期実績（営業利益）



(億円)

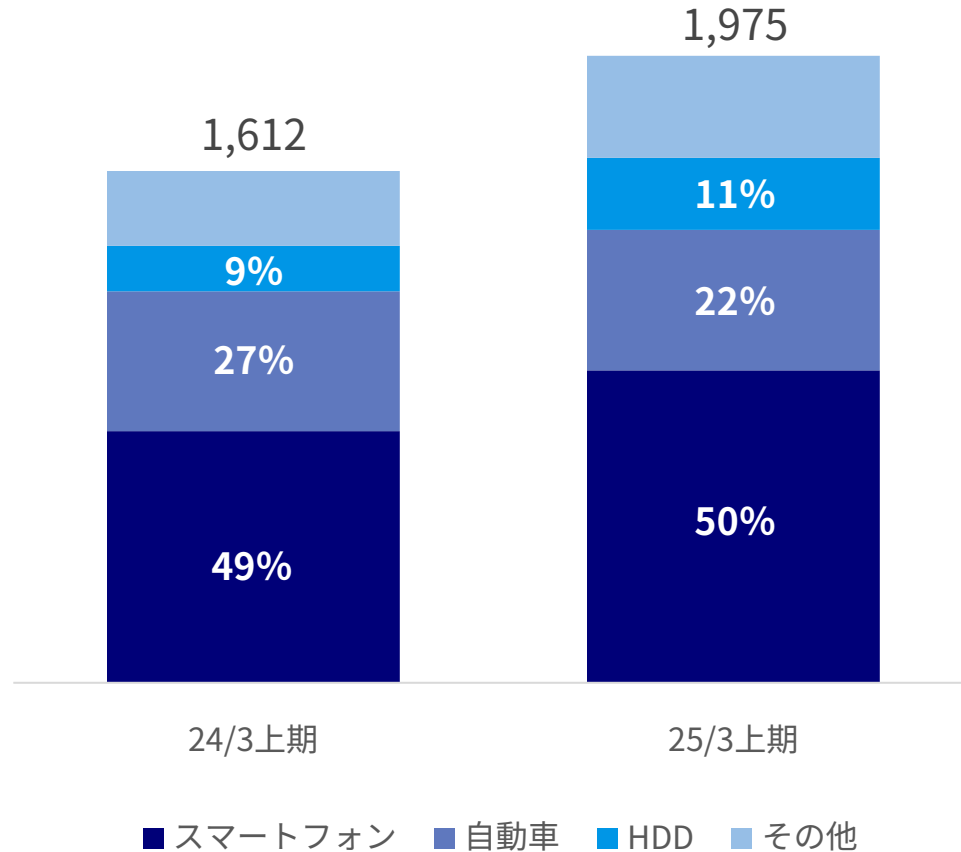


電子部品事業：2025年3月期 中間期実績（売上高）



主要用途別売上高構成比

売上高（億円）

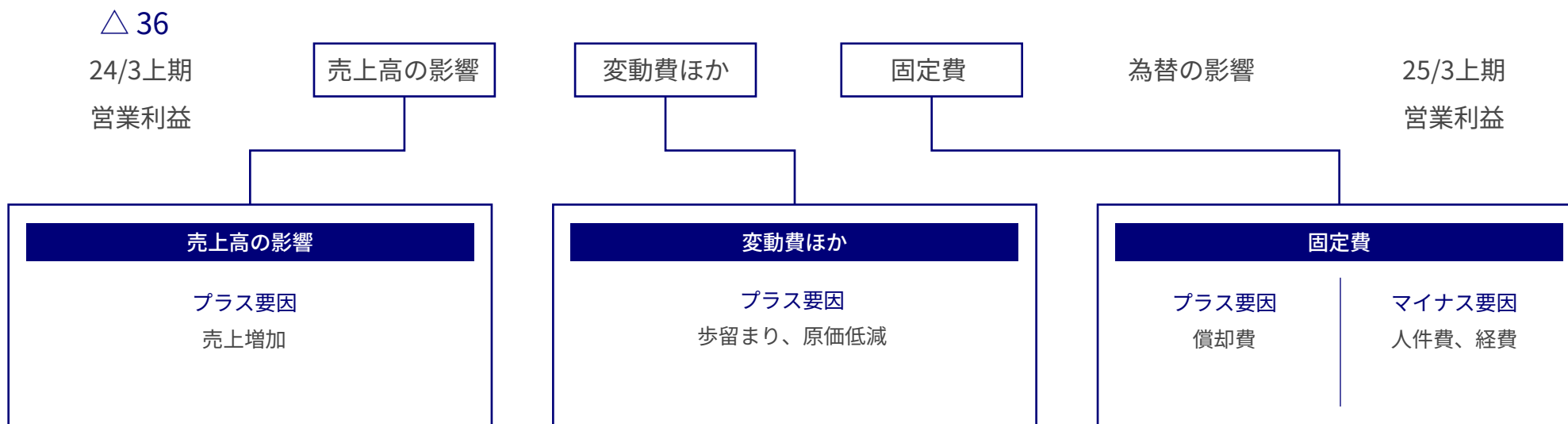
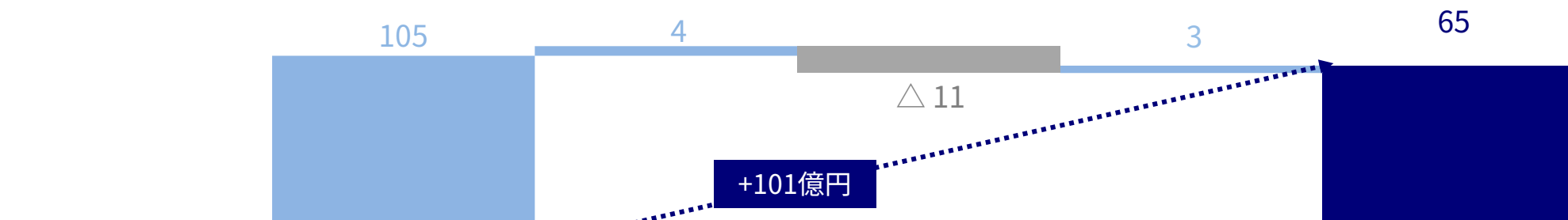


- 前期比363億円増（+22.5%）
為替の影響（+152億円）を除いても大幅増収
- スマートフォン：当期は北米向けの販売ピークがQ2（前期はQ3がピーク）となったことなどから売上が大きく増加
- 自動車：バッテリー向けは前同比較で増加しているが、それ以外の用途が減少し、売上はほぼ横ばい。為替の影響を除くと売上減
- HDD：データセンター向け需要の回復に加え、顧客での在庫積み増しなどもあり、売上増加

電子部品事業：2025年3月期 中間期実績（営業利益）



(億円)



2025年3月期連結業績予想



(億円)

	24/3期通期 実績	25/3期通期 修正予想	前年同期比	前回予想 (24/8/2) との差異
売上高	7,505	7,455	△50 (△0.7%)	+8
営業利益	229	319	+90 (+39.2%)	+39
営業利益率	3.1%	4.3%	+1.2pt	+0.5pt
経常利益	403	387	△16 (△3.9%)	+6
当期純利益*	316	228	△88 (△27.9%)	△4

*親会社株主に帰属する当期純利益

設備投資額	452	576
減価償却費	478	473
平均為替レート (円/ドル)	143.74	*下記参照

*上期実績レート 153.64円/米ドル。2024年10月1日以降の平均レート150円/米ドル

2025年3月期予想：セグメント別売上高・営業利益



(億円)

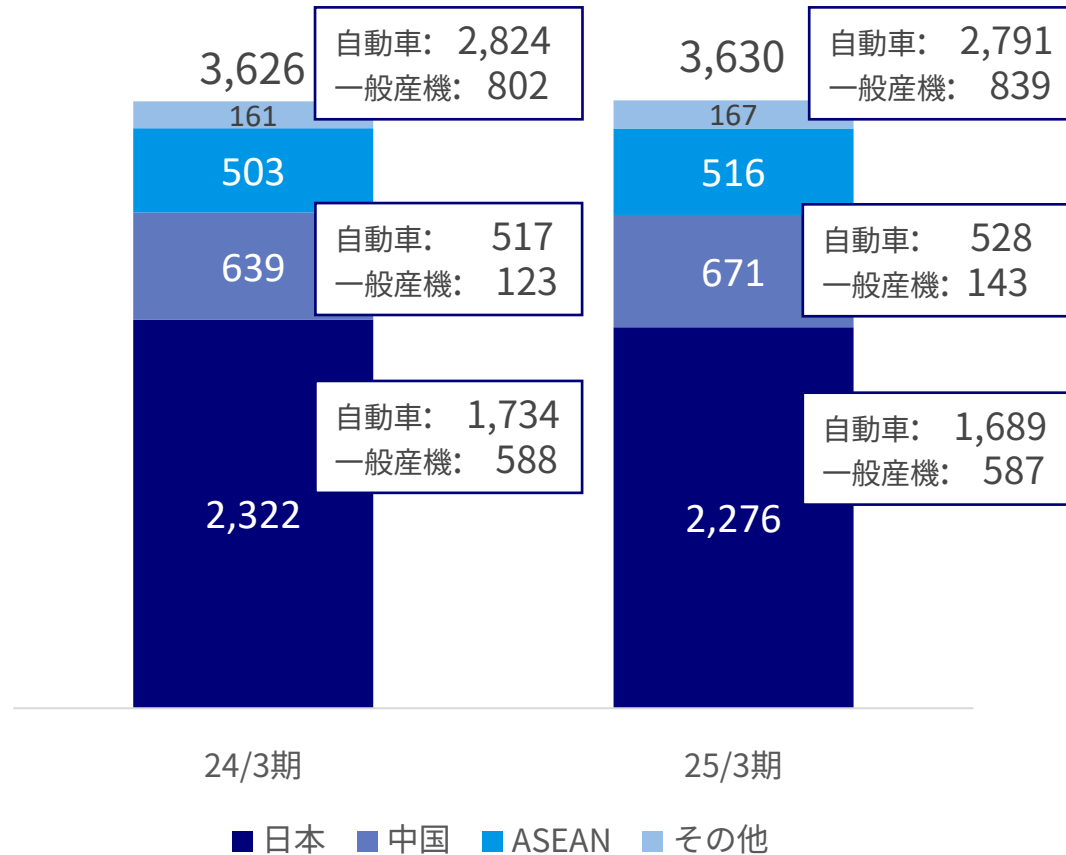
		24/3期通期 実績	25/3期通期 修正予想	前年同期比	前回予想 (24/8/2) との差異
シール事業	売上高	3,626	3,630	+4 (+0.1%)	+4
	営業利益	233	234	+1 (+0.4%)	+30
	営業利益率	6.4%	6.4%	+0.0pt	+0.8pt
電子部品事業	売上高	3,598	3,506	△92 (△2.6%)	+8
	営業利益	△10	69	+79 (-)	+8
	営業利益率	△0.3%	2.0%	+2.3pt	+0.2pt
その他事業	売上高	281	319	+38 (+13.7%)	△4
	営業利益	6	16	+10 (+155.5%)	+1
	営業利益率	2.2%	4.9%	+2.7pt	+0.4pt

シール事業：2025年3月期通期予想（売上高）



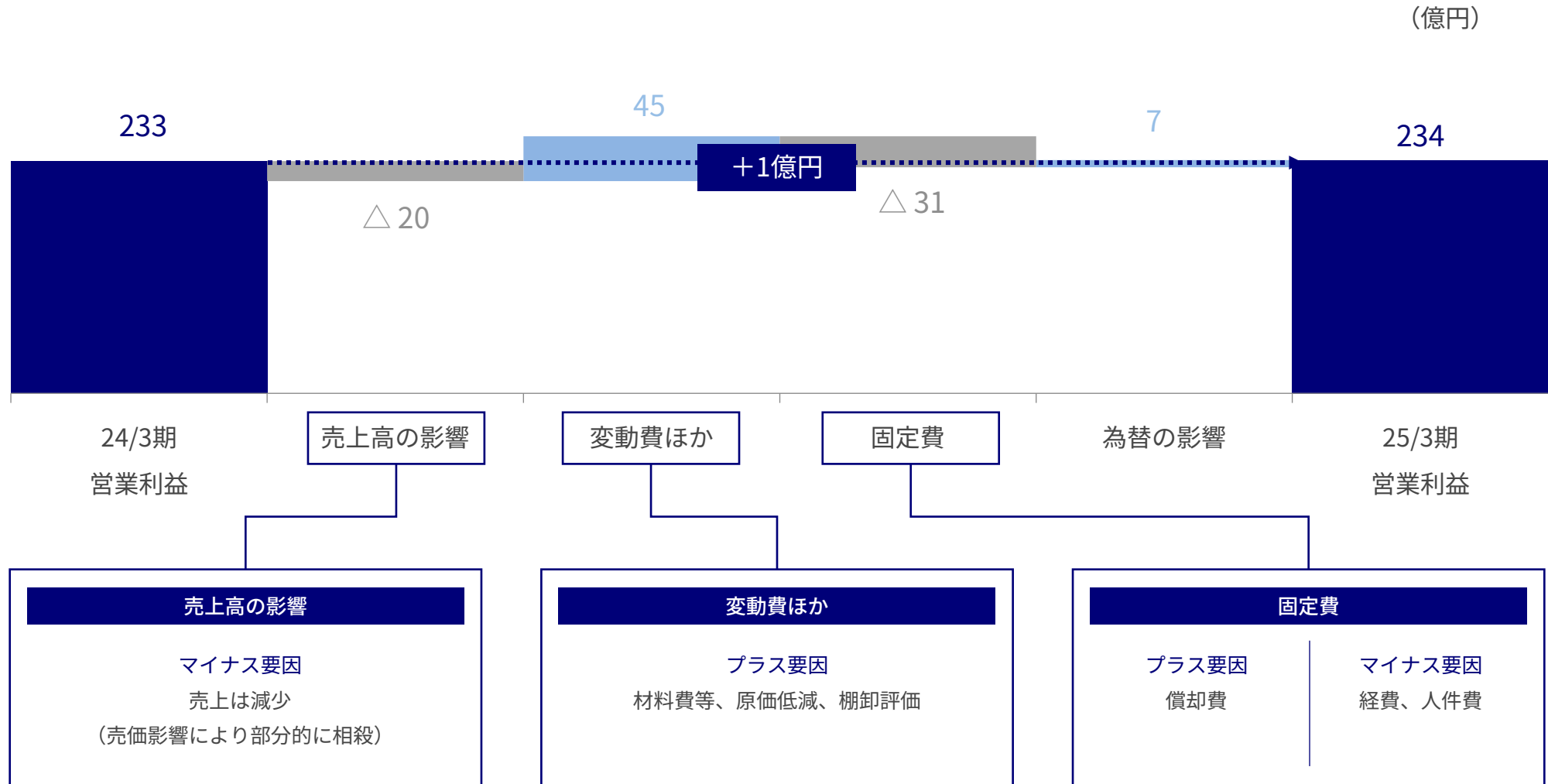
所在地別売上高（億円） *販売元の所在地ベース

産業別売上高（億円）



- ほぼ前期比並みの+4億円（+0.1%）を予想
為替の影響（+53億円）を除くと実質は減収見通し
- 国内外とも短期的には市況の大きな変化は見込みにくい
が、日本においては下期にかけて自動車生産台数がある程度回復する前提
- 引き続き価格改定活動の積極的な推進による収益性向上に取り組む

シール事業：2025年3月期通期予想（営業利益）

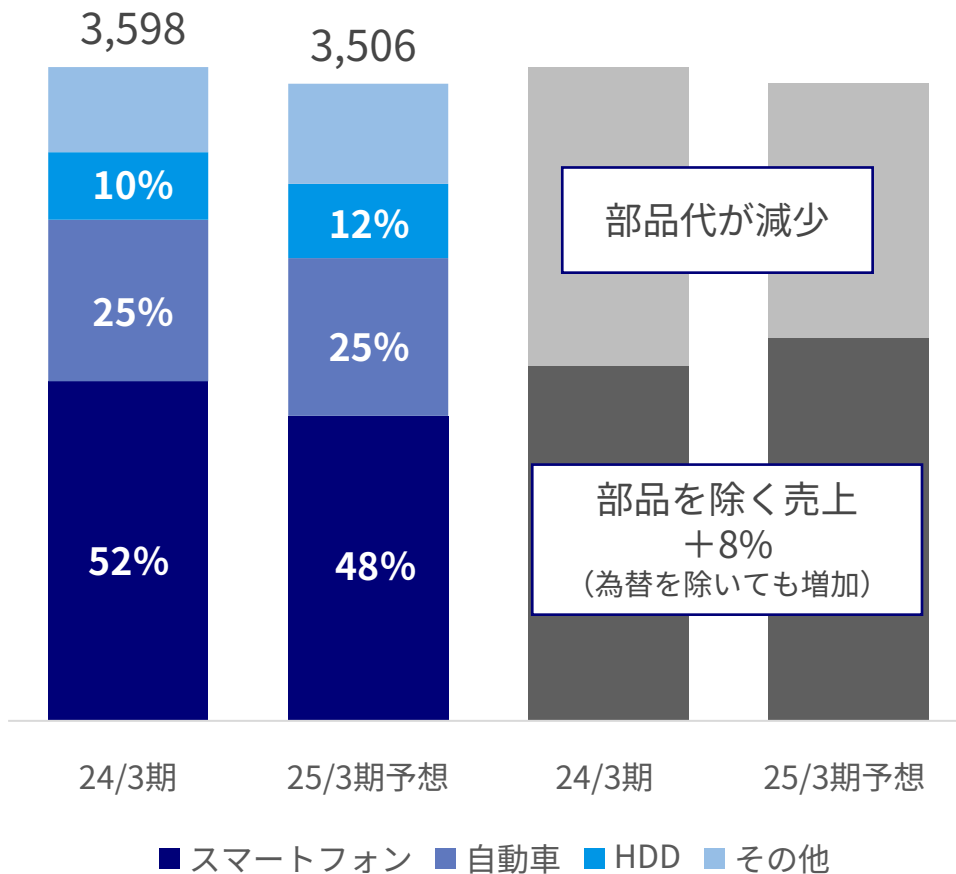


電子部品事業：2025年3月期通期予想（売上高）



主要用途別売上高構成比

売上高（億円）

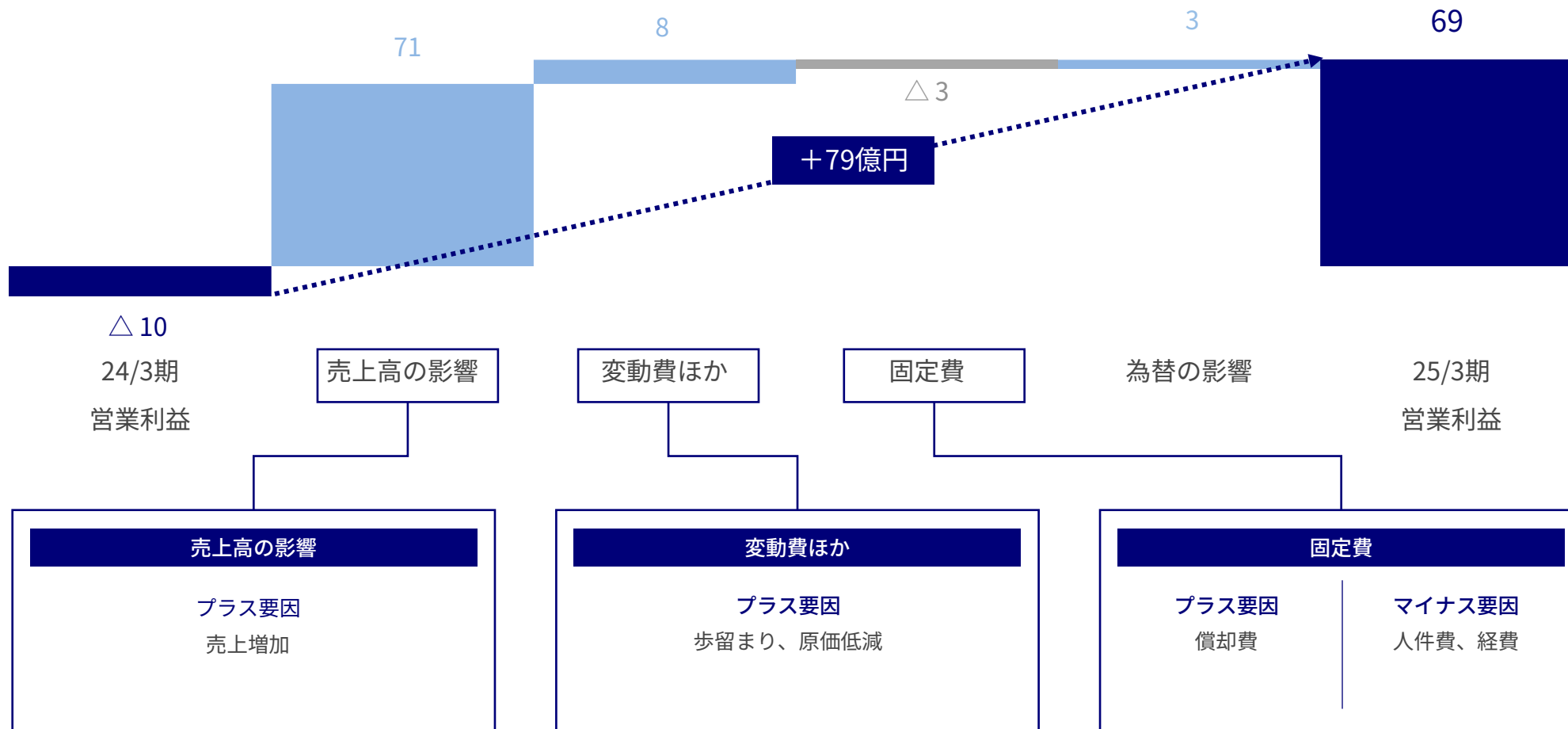


- 前期比92億円減（△2.6%）を予想
主にスマートフォン向けの部品代が減少するが、部品代を除く実質的な売上は増加
- スマートフォン：上期は大幅増収も、北米向け販売ピーク時期が前年と異なる（前期Q3→当期Q2）ため、下期及び通期では減少見込み。ただし、部品代を除く実質的な売上は増加
- 自動車：バッテリー向けは増加を見込むが、それ以外の用途向けの減少をカバーできず自動車向け全体では微減を予想
- HDD：顧客在庫積み増しの影響もあった上期と比較すると下期の伸びは落ち着くものの、データセンター向けの好調な需要を受け、通期での売上増加を見込む

電子部品事業：2025年3月期通期予想（営業利益）



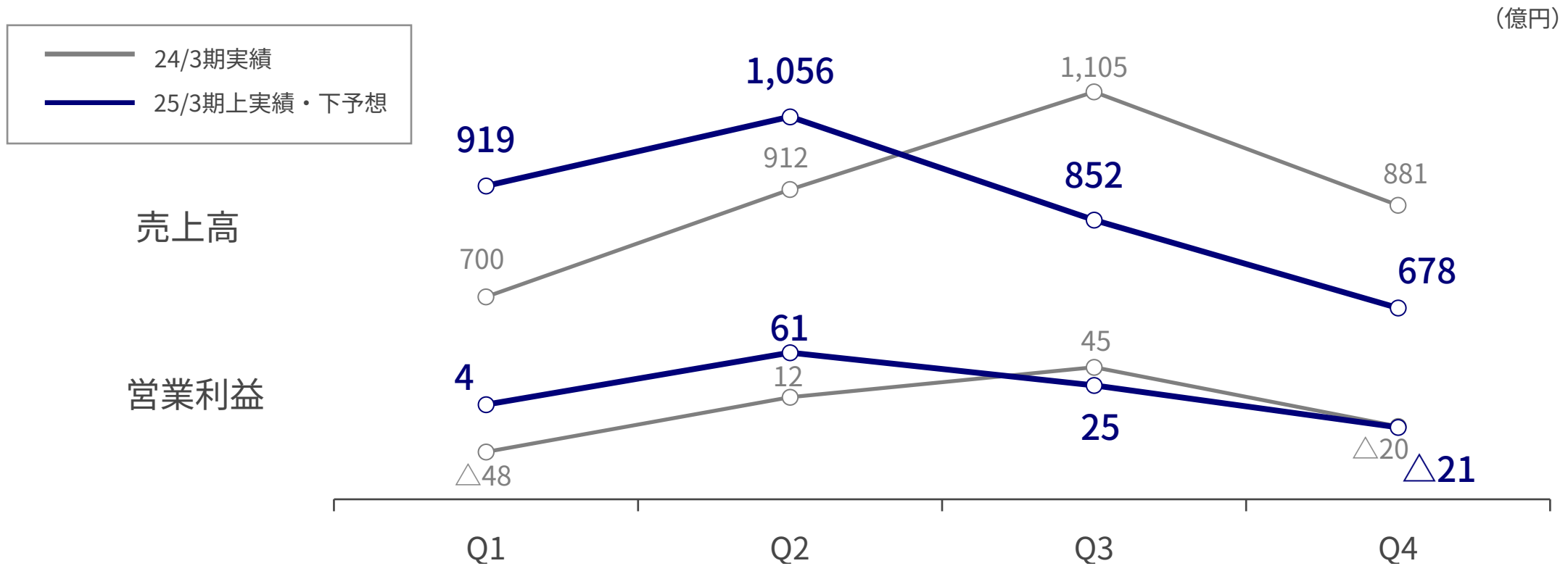
(億円)



電子部品事業：業績の四半期推移



前期とスマートフォンの需要ピークが異なることにより下期は減益（Q3は黒字・Q4は赤字）を予想
下期黒字確保に加え、今後の閑散期における損益影響軽減に向けた施策を継続的に推進していく



資本政策：中計方針に沿った株主還元・資本効率化の実行



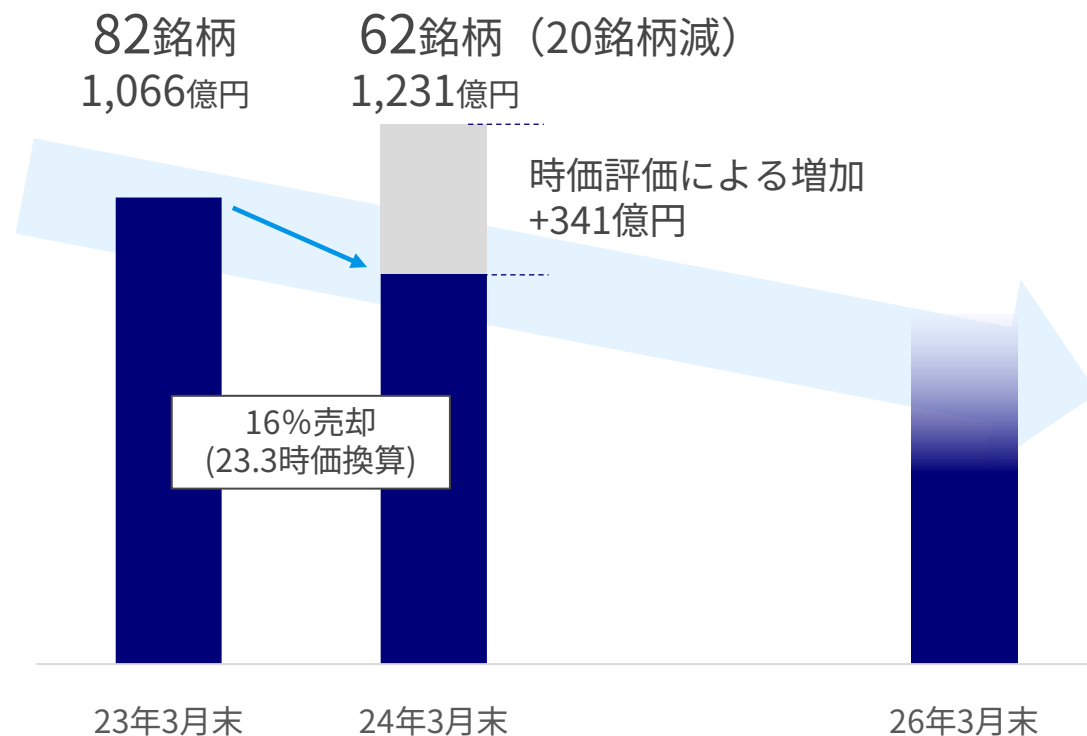
株主還元：
3年間の還元総額 675億円以上の実行

政策保有株式の売却：
3年間で中期経営計画目標23.3時価換算の25%売却

当期の中間配当金50円/株を決定。年間予想は変更なし

【保有銘柄数およびB/S計上額】

	23年度	24年度予想	増減
1株あたり 年間配当金	87.5円	100円	+12.5円
	中間37.5円 期末50円	中間50円 期末50円	



有価証券報告書に記載の「保有目的が純投資目的以外の投資株式」の銘柄数およびB/S計上額

当資料でご説明するNOK株式会社およびグループ各社の計画、見通し、方針、戦略、意見などのうち、歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた内容に基づいて作成しております。実際の業績に影響を与え得る要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、市況、為替の動向など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。そのため、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

また、当資料の中でご説明する内容の正確性については、万全を期しておりますが、その内容に関してはいかなる保証もするものではなく、万一、これにより貴方に損害が生じて一切責任を負いかねます。

また、当資料の著作権は、NOK株式会社に帰属しており、無断転載・複製することはご遠慮ください。